



日本バルブコントロールズ株式会社

製品仕様・取扱説明書

電動バタフライバルブ DN シリーズ

SP-1519

本製品を正しくご使用いただけますよう本書を最後までよくお読みください。

概要

二重偏心バタフライバルブに比例制御用電動操作機を搭載。

操作機

PDX : AC / DC 電源用

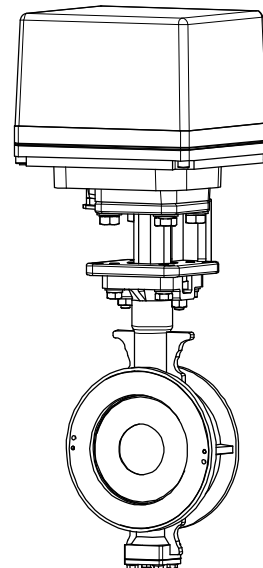
PHX : AC / DC 電源用

バルブ

DN シリーズ 高温 (蒸気) から低温まで幅広い温度範囲で使用可能です。

二重偏心構造で長寿命です。









シートはセルフシール形状で低圧から高圧まで安定したシール性能を実現しています。



製品コード

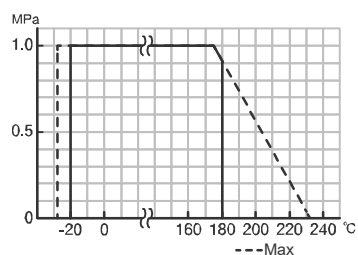
DN シリーズ □□□ □ □ □ 1 T T F - □□□□ - □□□ - □ (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11)			
(1) 操作機型式 PDX PHX	(4) ランク 0 : 標準 1 : 軽荷重 2 : 重荷重	(7) 弁体材質 T : SCS13A	(10) オプション EA : 異常接点出力基板 EI : 絶縁開度出力基板 L0 : 補助リミットスイッチ L2 : 補助リミットスイッチ
(2) 弁型式 DN	(5) 接続規格 1 : JIS 5K / 10K	(8) シート材質 F : F-PTFE	(11) 動作モード なし : モード A J : モード B
(3) 電源電圧 1 : AC100 / 110 V 2 : AC200 / 220 V 0 : DC24 V 3 : AC24 V	(6) 本体材質 T : SCS13A	(9) 呼び径 [A] ex. 80 A → 080	(11) 入力信号 (PDX) 各種制御入力信号に対応

バルブ仕様

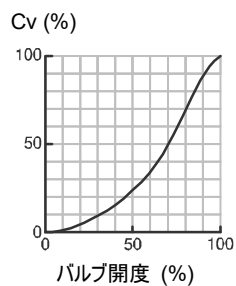
 冷温水
  油
  気体
  蒸気
  化学薬品
  海水
  スラリー
  負圧条件

弁型式	DN	
本体形状	ウェハー形	
接続規格	JIS 5K / 10K フランジ兼用	
適用流体	   	
最大圧力	1 MPa	
呼び径 [A]	80 ~ 300	
弁材質	本体	SCS13A
	弁体	SCS13A
	シート	F-PTFE
ステムシール	パッキン	PTFE

使用圧力と温度範囲



固有流量特性



レンジアビリティ 50:1

電動操作機仕様

PDX シリーズ

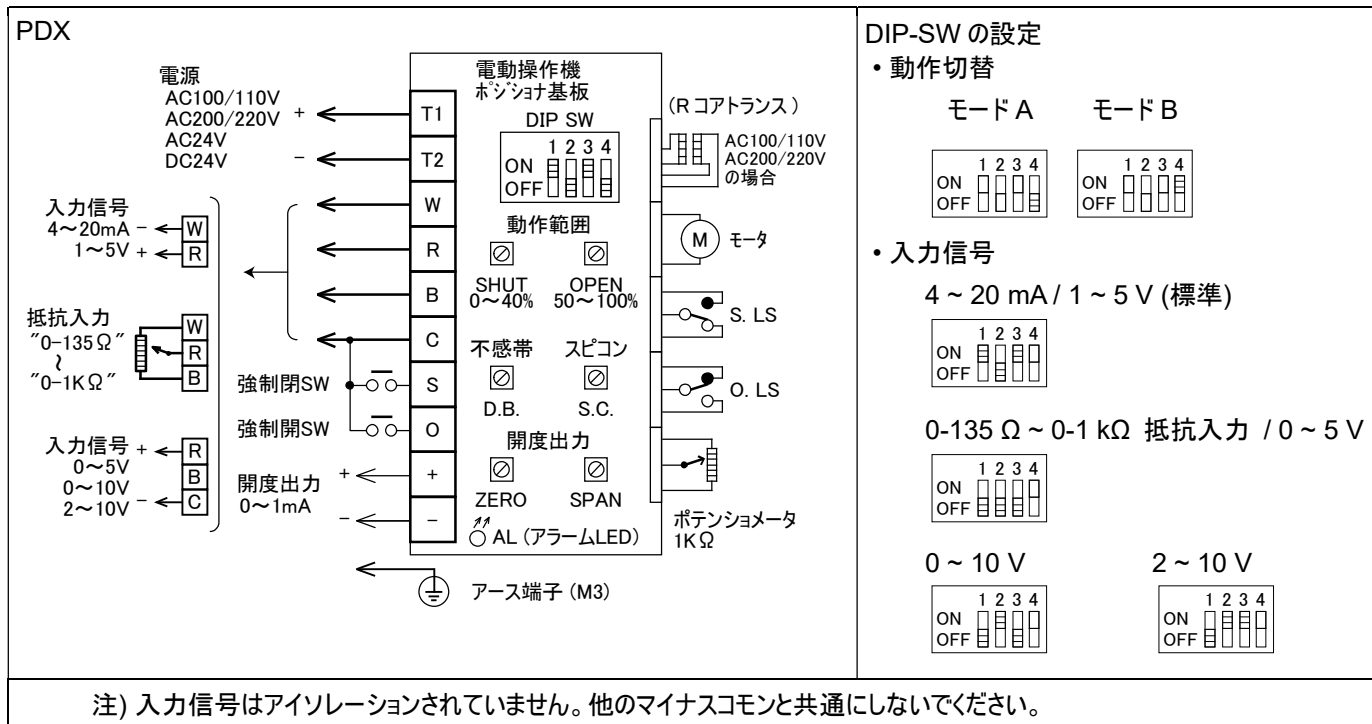
型式 (□: 電源コード)	PDX-300-□	PDX-700-□	PDX-02K-□	PDX-06K-□
電源	AC100 / 110 V ±10 % 50/60 Hz (電源コード: 1) AC200 / 220 V ±10 % 50/60 Hz (電源コード: 2) AC24 V ±10 % 50/60 Hz (電源コード: 3) DC24 V (電源コード: 0)			
定格トルク [N·m]	21	50	140	400
開閉時間 [s]	6 ~ 20 可変	15 ~ 50 可変	30 ~ 100 可変	90 ~ 300 可変
消費電力 (最大) [VA]	AC 電源 100 DC 電源 80		AC 電源 150 DC 電源 120	
モータ	DC モータ (VIC 電圧・電流制御)			
モータ保護	カーレントリミッタ式			
制御方式	比例制御			
入力信号 *1	4 ~ 20 mA 1~5 V 0 ~ 5 V 0 ~ 10 V 2 ~ 10 V 0-135 Ω ~ 0-1 kΩ 抵抗入力		入力抵抗 250 Ω (標準) 入力抵抗 1 M Ω 以上 印加電圧 DC5 V	
動作 *2	[モード A] 入力信号小 で閉 ↔ 入力信号大 で開 (標準) [モード B] 入力信号大 で閉 ↔ 入力信号小 で開 [強制開閉] C-S が ON で閉 ↔ C-O が ON で開 (入力信号に優先して作動 : モード A / B 共通)			
開度出力	0 mA で 閉 ↔ 1 mA で 開 (外部負荷抵抗 3 kΩ 以下) モード A / B 共通			
強制開閉用入力	入力信号に優先して作動 *モード A / B 共通 ドライ接点 / トランジスタ、オープンコレクタ (入力信号電流 DC15 V 6 mA)			
動作角調整範囲	閉側: 0 ~ 40%		開側: 50 ~ 100%	
分解能	0.5 % 以下		0.2 % 以下	
負荷時間率	50 % 30 min.			
使用周囲温度	-20 ~ 55 °C			
スペースヒータ電力	3 W			
手動操作	手動クラッチ式 (300 ~ 02K: 出力軸直接操作、06K は手動操作軸)			
保護形式	IP65 相当 (JIS C 0920) 防噴流形			
モータケース	アルミダイカストケース (アクリル樹脂系焼付塗装)			
電線接続	ねじ端子台 M3 (アース用ねじ M3)			
電線引込形式	2-G1/2 付属品: ケーブルグランド (Φ6 ~ 12 mm キャブタイヤケーブル用)、プラグ			

*1 基板上的 DIP スイッチで変更可能 (標準 → 抵抗入力 または 0 ~ 5 V 0 ~ 10 V 2 ~ 10 V)

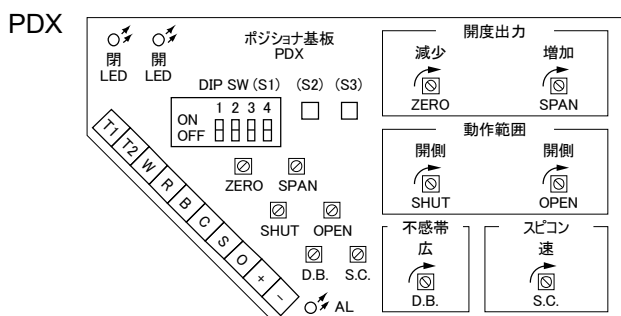
*2 基板上的 DIP スイッチで変更可能 (標準 → モード B)

電動操作機仕様

結線図



操作機の調整方法



- ① デッドバンドの調整
 操作機がハンチング (調節計の信号のリップルが大きい場合や信号が常に細かく変動) する場合は、D.B.トリマを時計方向に回し、デッドバンドを広くしてください。
- ② 制御範囲の調整
 バルブ / ダンパの制御角度 (動作範囲) を調整する場合は、SHUT トリマで閉位置、OPEN トリマで開位置を調整してください。いずれも時計方向に回すと開側に調整されます。
- ③ 動作速度の調整
 動作速度を遅くしたい場合は、S.C.トリマを反時計方向に回してください。速くしたい場合は、時計方向に回してください。出荷時は S.C.トリマは中間位置です。強制開閉動作時間は S.C.トリマでは調整できません。

電動操作機仕様

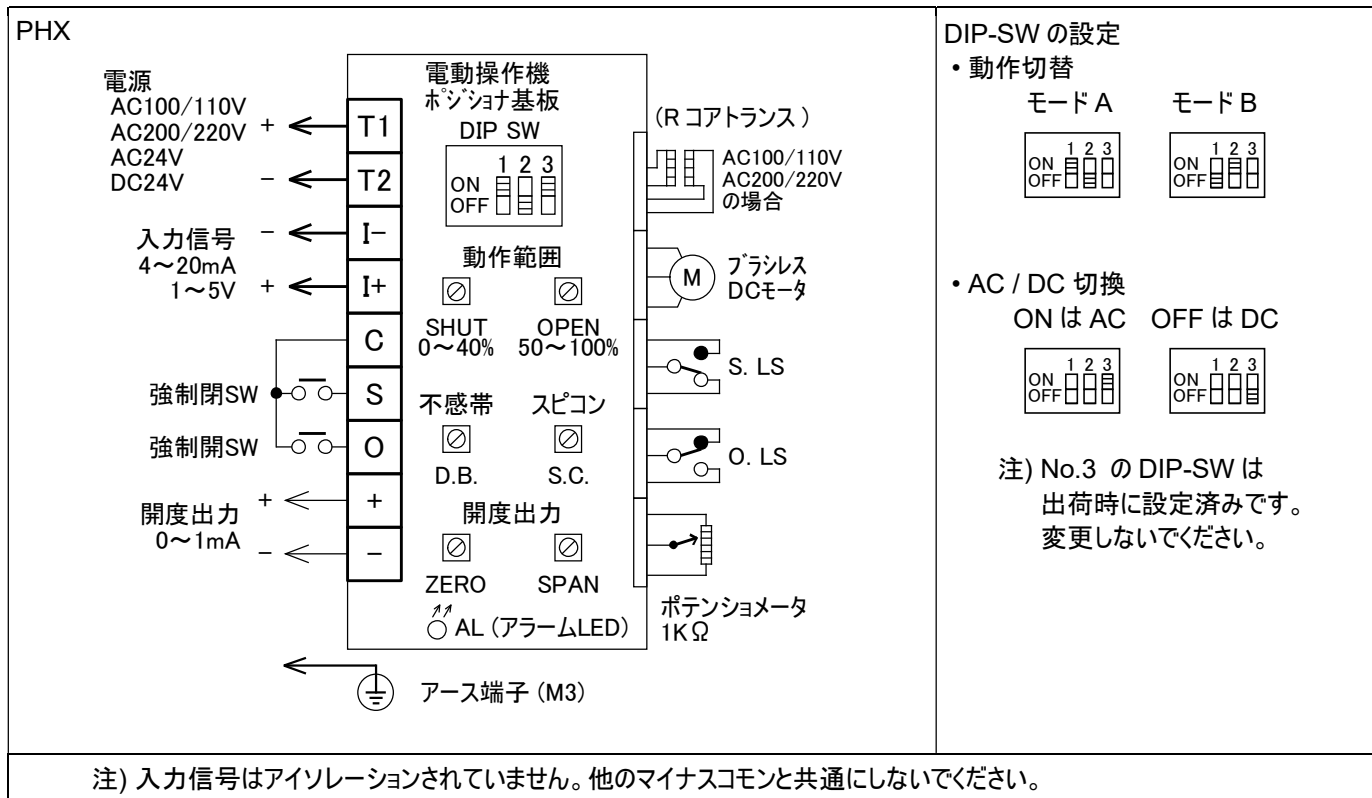
PHX シリーズ

型式 (□: 電源コード)	PHX-300-□	PHX-700-□	PHX-02K-□	PHX-06K-□
電源	AC100 / 110 V ±10 % 50/60 Hz (電源コード: 1) AC200 / 220 V ±10 % 50/60 Hz (電源コード: 2) AC24 V ±10 % 50/60 Hz (電源コード: 3) DC24 V (電源コード: 0)			
定格トルク [N·m]	21	50	140	400
開閉時間 [s]	AC 電源 1.2 ~ 2.5 DC 電源 2 ~ 2.5 (S.C.トリマ最長: 8)	AC 電源 3.5 ~ 7 DC 電源 4.5 ~ 7 (S.C.トリマ最長: 22)	AC 電源 11 ~ 23 DC 電源 15 ~ 23 (S.C.トリマ最長: 78)	AC 電源 35 ~ 70 DC 電源 45 ~ 70 (S.C.トリマ最長: 230)
	開閉時間は S.C.トリマ最速 (出荷時) 及び強制開閉動作時の時間です。 強制開閉動作時間は S.C.トリマでは調整できません。			
消費電力 (最大) [VA]	120			
モータ	ブラシレス DC モータ (PWM 制御)			
モータ保護	カーレントリミッタ式			
制御方式	比例制御			
入力信号	4 ~ 20 mA または 1 ~ 5 V (入力抵抗 250 Ω)			
動作 *1	[モード A] 入力信号小 で 閉 ↔ 入力信号大 で 開 (標準) [モード B] 入力信号大 で 閉 ↔ 入力信号小 で 開 (オプション: J) [強制開閉] C-S が ON で 閉 ↔ C-O が ON で 開 (入力信号に優先して作動 : モード A / B 共通)			
開度出力	0 mA で 閉 ↔ 1 mA で 開 (外部負荷抵抗 3 kΩ 以下) モード A / B 共通			
強制開閉用入力	入力信号に優先して作動 *モード A / B 共通 ドライ接点 / トランジスタ、オープンコレクタ (入力信号電流 DC15 V 6 mA)			
動作角調整範囲	閉側: 0 ~ 40 % 開側: 50 ~ 100 %			
分解能	0.2 % 以下			
負荷時間率	連続			
使用周囲温度	-20 ~ 55 °C			
スペースヒータ電力	3 W			
手動操作	手動クラッチ式 (300 ~ 02K: 出力軸直接操作、06K は手動操作軸)			
保護形式	IP65 相当 (JIS C 0920) 防噴流形			
モータケース	アルミダイカストケース (アクリル樹脂系焼付塗装)			
電線接続	ねじ端子台 M3 (アース用ねじ M3)			
電線引込形式	2-G1/2 付属品: ケーブルグランド (Φ6 ~ 12 mm キャブタイヤケーブル用)、プラグ			

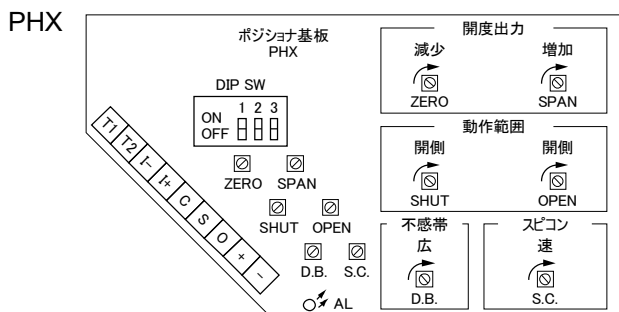
*1 基板上的 DIP スイッチで変更可能 (標準 → モード B)

電動操作機仕様

結線図



操作機の調整方法



- ① デッドバンドの調整
 操作機がハンチング (調節計の信号のリップルが大きい場合や信号が常に細かく変動) する場合は、D.B.トリマを時計方向に回し、デッドバンドを広くしてください。
- ② 制御範囲の調整
 バルブ / ダンパの制御角度 (動作範囲) を調整する場合は、SHUT トリマで閉位置、OPEN トリマで開位置を調整してください。いずれも時計方向に回すと開側に調整されます。
- ③ 動作速度の調整
 動作速度を遅くしたい場合は、S.C.トリマを反時計方向に回してください。速くしたい場合は、時計方向に回してください。

注) 開閉時間は S. C.トリマ最速 (出荷時) 及び強制開閉動作時の時間です。強制開閉動作時間は S.C.トリマでは調整できません。

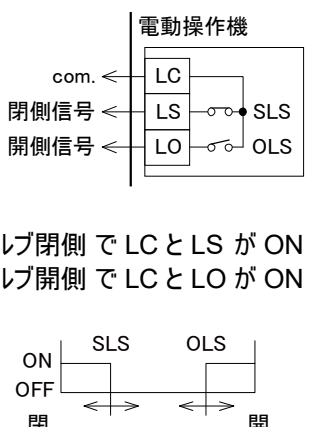
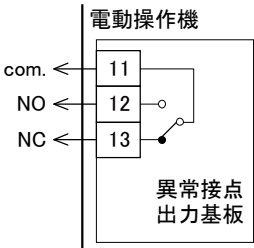
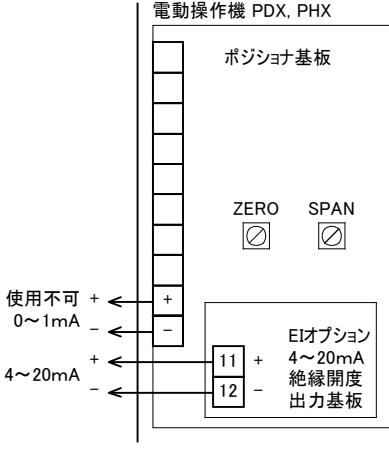
電動操作機仕様

オプション

分類		コード	PDX	PHX	概要
入力信号と動作モード (出荷時設定)	4 ~ 20 mA または 1 ~ 5 V	なし	○	○	モード A (標準出荷状態)
		J	○	○	モード B
	0-135 Ω ~ 0-1 kΩ 抵抗入力 または 0 ~ 5 V	F	○		モード A
		K	○		モード B
	0 ~ 10 V	G	○		モード A
		N	○		モード B
2 ~ 10 V	H	○		モード A	
	M	○		モード B	
補助リミットスイッチ	開閉信号をドライ接点で独立して出力します。	L0	○	○	標準信号用
		L2	○	○	微小負荷信号用
異常接点出力	異常接点出力基板	EA	○	○	
開度出力信号	4 ~ 20 mA 絶縁開度出力基板	EI	○	○	注) EI と EA の同時搭載不可

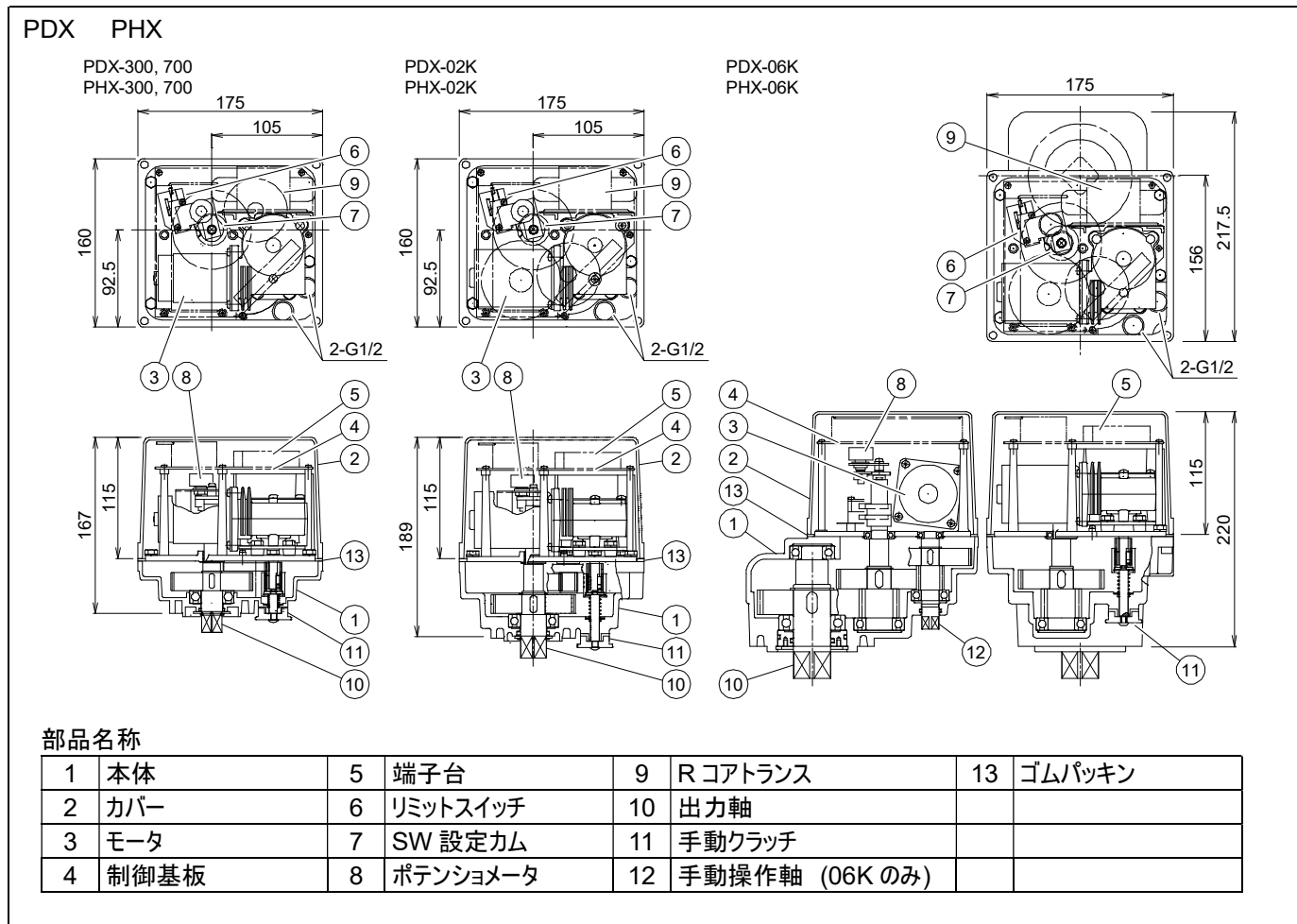
信号用補助リミットスイッチ (L0, L2) の詳細は、オプション仕様書にてご確認ください。

オプション結線図

L0 L2	信号用補助リミットスイッチ	EA	異常接点出力基板	EI	4 ~ 20 mA 絶縁開度出力基板
	 <p>電動操作機</p> <p>com. ← LC</p> <p>閉側信号 ← LS</p> <p>開側信号 ← LO</p> <p>SLS</p> <p>OLS</p> <p>バルブ閉側で LC と LS が ON</p> <p>バルブ開側で LC と LO が ON</p> <p>ON 閉 SLS OLS 開</p> <p>ON ポイントはカム調整で任意に設定可能</p>	 <p>電動操作機</p> <p>com. ← 11</p> <p>NO ← 12</p> <p>NC ← 13</p> <p>異常接点出力基板</p> <p>NO : ノーマルオープン</p> <p>NC : ノーマルクローズ</p> <p>入力信号に対して正常動作せず、保護回路が働いた場合、その信号が取り出せます。</p> <p>異常時 → 11 と 12 が ON</p> <p>通常 → 11 と 13 が ON</p> <p>注) EI 基板との併設はできません</p>	 <p>電動操作機 PDX, PHX</p> <p>ポジショナ基板</p> <p>ZERO <input checked="" type="checkbox"/> SPAN <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>使用不可 + ← 0 ~ 1mA - ←</p> <p>4 ~ 20mA + ← EI オプション 4 ~ 20mA 絶縁開度出力基板 11 + 12 - ←</p> <p>全閉 ~ 全開の間で 4 ~ 20 mA の出力に設定。PDX / PHX ポジショナ基板上での ZERO / SPAN トリマで調整が可能。ポジショナ基板の 0 ~ 1mA 開度出力は使用不可。</p>		

電動操作機仕様

構造図・外形寸法図



電動弁取扱注意事項

ご使用にあたって

① 運送上の注意

丁寧に取扱い、落としたり、投げ下ろしたりしないでください。

② 保管上の注意

・長期又は一時保管の場合は梱包のまま整理して保管してください。直射日光が当たる場所、ほこりの多い場所、水滴がかかる場所は避け、製品に無理な力が加わらないようにしてください。

・配管ポートの防塵キャップは配管するまで外さないでください。

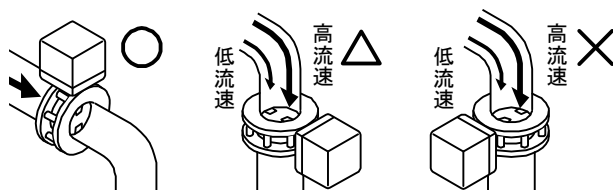
③ 製品の確認

・据え付け前に、必ず製品型式が正しいか、確認してください。
 ・ボルト類に緩みが発生していないか点検してください。
 ・モード切替 DIP スwitchの設定は必ず電源投入前に行ってください。

電動弁の取付け

① 配管の注意

- ・バルブを接続する前に、配管内に異物（溶接スパッタ、さび、スケール、砂等）が残存しないように清掃してください。
- ・流れ方向に指定のあるバルブ（DN）は、製品に表示してある矢印を確認して配管してください。
- ・バルブは全閉した状態で出荷されますので、そのまま取付けることができます。
- ・配管の曲り管の近くに取り付ける場合は、曲り管の上流に取り付けてください。やむを得ず曲り管の下流に取り付ける場合は、流れの偏りに対して弁軸が垂直になるように配管するか、呼び径の5倍以上の直管部を設けてください。



- ・他のバルブと近接して使用する場合は、各バルブの弁軸が垂直になるように配管してください。
- ・フランジの溶接、取付け方法により、弁体がパイプ内側に接触する危険のある場合は、パイプ接続内周の面取りを行うことが必要です。

② フランジ接続上の注意

- ・配管用ガスケットは流体性状、圧力、温度に適したものを選定してください。
- ・大きな温度変化が頻繁に起こる場合は配管パッキンの面圧低下を防止する為にスプリングワッシャの使用をお勧めします。
- ・ウェハー形バタフライバルブは二枚のフランジにはさみ込み、ロングボルトで締め付けます。
- ・フランジとバルブの芯出しを正確に行い、弁体がパイプ内側に接触しないよう注意して取付け作業を行ってください。
- ・ボルトの締め付けは、対角線上を交互に均等な力で締めてください。

③ 取付け環境

- ・高温（55℃以上）、腐食性ガス等の雰囲気、又は振動の多い場所（0.5 G 以上）は避けてください。
- ・輻射熱により、操作機の表面温度が 55℃ 以上になる場合は、適切な遮蔽板を設けてください。
- ・流体または製品の作動部が凍結するおそれがある場合は、凍結防止策を施してください。

④ 取付け姿勢

取付け姿勢は正立から横向きまでとし、逆立は避けてください。製品の周辺には、手動操作、点検、交換作業が行えるスペースを設けて下さい。

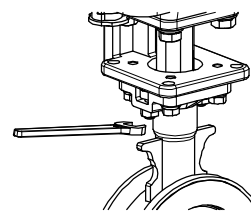
操作機上部に必要なメンテナンススペース	
PDX PHX	120 mm 以上

⑤ その他の注意

ケーブルグラウンドに配線されるまでは、操作機内部の結露、水の浸入がないようにしてください。これはケーブルグラウンドの保護キャップは防塵の為に、防水ではない為です。

⑥ 保温施工上の注意

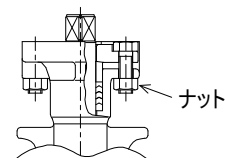
メンテナンスのためグラウンド部は保温しないでください。



グラウンドナットの増し締め

- ・グラウンド構造のバルブは、グラウンドパッキン部より漏れがないか確認してください。
- ・漏れが発見された場合は、グラウンドナットを交互に均一に増し締めしてください。

下記の表のトルクを参考に、締め過ぎに注意してください。



呼び径 [A]	グラウンド締付トルク [N・m]
80	3.5
100	7
125	
150	
200	14
250	
300	

電動弁取扱注意事項

結線

①配線上の注意

- 配線作業は、操作機カバーを取り外して行ってください。
- 操作機下部の配線引込み口 (G1/2×2 口) にキャブタイヤケーブル用ケーブルグランド×1と、プラグ×1 が取り付けられています。適応キャブタイヤケーブル外径は Φ6 ~ 12 mm となります。
- 電源線と信号線を分ける場合や、他サイズのケーブルを使用する場合は、別途ケーブルグランドをご用意ください。
- フレキチューブを使用する場合はチューブ内部から呼吸作用により、操作機内部で結露が発生し動作不良となることがあります。シール剤でフレキチューブコネクタ部をシールしてください。
- シール剤を操作機内部で使用する場合、リミットスイッチ等の接点に悪影響のない電気機器用の物を使用してください。
- 電圧降下に注意し、操作機の端子電圧が定格の 90 % 以下にならないようにしてください。
- 入力信号はアイソレーションされていません。マイナス端子を他のマイナスコモン (DC 電源等) と共通にしないでください。

②結線上の注意

- 屋外で使用する場合、雨天での結線は避けてください。
- 電源電圧を確認し、結線図通り正しく結線してください。
- 必要のない端子には結線しないでください。
- 基板上のモード切換ディップスイッチが正しく設定されているか確認してください。
- 結線時に信号の結線 (+ - 等) を間違えると正しく動作しません。又、2 台以上のバルブを 1 つの調節計又は測定器で制御する場合はお問い合わせください。
- アース等の感電防止対策をとってください。操作機内ではアース表示 (≐) のねじをご利用ください。

結露防止

- 結線後、操作機上部カバーを取付ける時は、ボルトは仮締、本締の手順で行い、ゴムパッキンが均一に締まっていることを確認してください。
- 電線引込口から浸水しないよう、ケーブルグランドのナットが締め込まれている事を確認してください。

制御

①入力信号

- 入力信号、開度出力、強制閉の配線はノイズの多い場所や長距離の信号ラインの配線は他の動力ラインと分けシールド線を使用してください。
- 1 ~ 5 V の電圧入力で制御する場合は、操作機の入力に 250 Ω の抵抗が接続されているため、20 mA 以上の電流を流すことのできる電圧源を使用してください。又、出力に抵抗器が直列に接続されている電圧源はその信号配線にノイズが乗りやすく、操作機の 250 Ω と分圧される事によって開度不足の原因になりますので使用しないでください。

②DC 電源

- バッテリー、又は全波整流の DC24V 電源が使用できます。
- モータ起動時は消費電流の 1.5 ~ 3 倍の突入電流が流れます。電源機器の選定にはこの突入電流を考慮してください。
- 配線距離が長くなる場合は、動作時、操作機部で電圧が 90 % 以下にならないように、電線を選定してください。
- 電源の立ち上がり、立ち下がり時間が 1 秒以上かかる物は、使用できません。

③入力信号と動作モード

特に指定のない場合、下記のように設定されています。ご使用前に設定が正しいか、必ず確認してください。

入力信号	4 ~ 20 mA または 1 ~ 5V
動作モード	A
動作	入力信号小で閉 ↔ 入力信号大で開

運転

①試運転の手順

電源を入れる前に一度、結線及び電源電圧が正しいか確認してください。試運転時は、スイッチの切り替えまたは入力信号に対する弁の動きや、信号出力が正しいことを確認してください。

②運転状態の確認

- 安定した制御をするよう、流体の条件、調節計の設定、センサ等の調節をしてください。
- 制御で最も良い状態は、制御の目標値で安定する状態です。目標値を大きくオーバーシュートしたり、なかなか収束しない場合、調節計の PID の設定値を調整してください。又時間遅れの大きい場合は、センサ位置を考慮してください。不安定な状態で使用すると、電動操作機やバルブの寿命が短くなります。

③負荷時間率 (PDX)

通常運転時、開閉頻度が規定の負荷時間率の範囲内であるか確認してください。負荷時間率の範囲を超えて使用すると製品の劣化、焼損の原因になることがあります。

負荷時間率は電動弁の開閉頻度を規定する値で、50 % 30 min. は、30 分の間にその 50 % (15 分) の時間の連動又は断続の開閉動作が可能であることを意味します。

④運転上の注意

- モード切替 DIP スwitchの設定は必ず電源投入前に行ってください。必要のないスイッチは絶対に変更しないでください。
- 結露防止スペースヒータを内蔵していますので、常時通電してください。
- 機械動作部 (コネクタ部) がありますので、運転時は動作部に手を近づけないようにしてください。
- 操作機上に物を置いたり、足場にしたりすることは、絶対に避けてください。

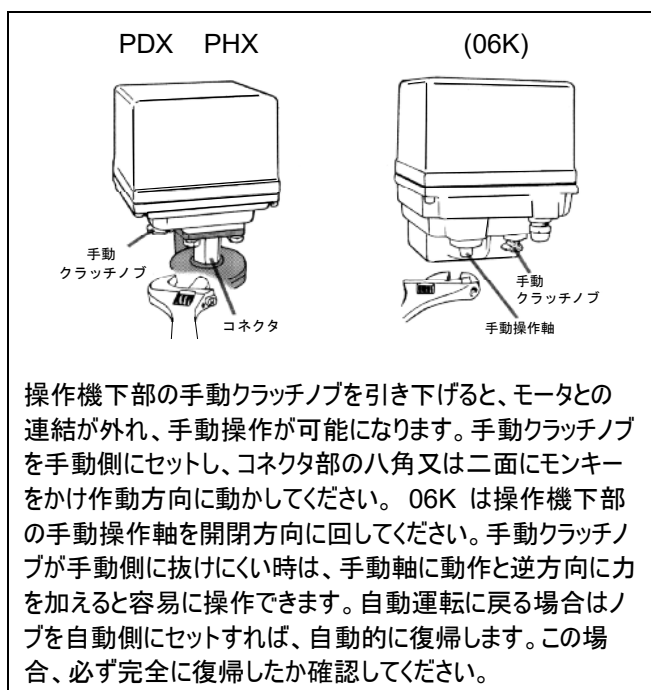
電動弁取扱注意事項

手動操作

①手動操作時の注意事項

- 安全のため必ず電源を切り、下記の要領で行ってください。
- 手動操作は開度表示を見ながら行い、全開、全閉位置を確認して、それ以上回し過ぎないようにしてください。
- DN シリーズは流体圧のダイナミックトルクにより弁体が動きます。手動操作はバルブ前後に差圧が発生していない状態で行ってください。流体が流れている状態での手動操作は危険ですので行わないでください。流体の力により、弁体には閉まろうとする力が働いています。流れている状態でクラッチを外すと流体の力で閉方向に動きウォーターハンマー現象が起きることがありますので、このような状態での手動操作は行わないでください。

②手動操作方法



操作機下部の手動クラッチノブを引き下げると、モータとの連結が外れ、手動操作が可能になります。手動クラッチノブを手動側にセットし、コネクタ部の八角又は二面にモンキーをかけ作動方向に動かしてください。06K は操作機下部の手動操作軸を開閉方向に回してください。手動クラッチノブが手動側に抜けにくい時は、手動軸に動作と逆方向に力を加えると容易に操作できます。自動運転に戻る場合はノブを自動側にセットすれば、自動的に復帰します。この場合、必ず完全に復帰したか確認してください。

いずれも自動運転に移る前に必ず工具は外してください。

保守・点検

- 感電を防止するため、操作機のカバーを開ける際は必ず電源を切って下さい。
- 使用状況、環境に応じ、定期的に点検を行ってください。
- 通常半年に一度下記に従って行ってください。
- 長期間運転しない場合は3ヶ月に1度程度運転を行い、動作を確認してください。

点検内容

- 開閉の動作に異常はないか
- 操作機内部が異常に熱くないか
- 作動時の異音、振動の有無
- ねじ類の緩みの有無
- 操作機内部に水の浸入、結露の発生はないか
- 流体温度、使用圧力の確認
- バルブのステム周りからの漏洩の有無
- ボルトの締め付けトルクの確認

電動弁取扱注意事項

故障と処置

製品が正常に作動しない場合は、下記項目で調査、点検をしてください。原因が不明、部品交換、修理が必要な場合は、その状況をご連絡ください。

故障状況	原因	処置
作動しない	結線が間違っている	正しく結線する
	電圧、入力信号が来ていない	電圧、入力信号を確認、調整
	電源電圧が正しくない	過大な電圧がかかった場合は操作機を交換する
	結線、回路が正しくない	結線、回路を見直す。特に信号の結線 (+ - 等) の間違いに注意
	配線のショート、接触不良	配線、接続を見直す
	モータの寿命	モータ交換 (工場修理)
		入力信号を変化させ、制御基板の S 又は O の LED が点灯するが、モータが動かない時はモータの寿命です PDX
動作不安定	サージ電圧、異常電圧が加わった	<ul style="list-style-type: none"> 制御基板、リミットスイッチを交換 (工場修理) 操作機交換
	操作機内に雨水の浸入	<ul style="list-style-type: none"> 内部を乾燥 操作機交換
	インバータからの高周波ノイズが加わる	インバータメーカーオプションの各ノイズフィルタを取付ける。配線をシールドしてアースする
	誘導ノイズが加わる	三相モータ等の動力配線と遠ざける。配線をシールドしてアースする
1~5V 入力 で中間までしか開かない	信号電圧源容量不足	20 mA 以上流せる電圧源を使用してください。又はお問い合わせください

故障状況	原因	処置
中間位置で止まる	付着物がある	付着物を除去
	バルブの変形	バルブを交換する
	トルク増大で保護回路が働いた	逆動作信号又は電源再投入で復帰
アラーム LED 点灯		
手動操作後自動で動かなくなった	手動クラッチが手動側になっている	自動側にセットする
	動作範囲外にある (06K)	手動操作で範囲内にする
バルブ内部 (シート) から漏れる	シートの摩耗、又は永久変形	バルブを交換する
		シートを交換する
ステム部 (グランド構造) から漏れる	グランドパッキンが摩耗した	グランドナットを増し締めする
		グランドパッキンを交換する

バルブ、操作機、部品を交換する場合、不明な点は、弊社までお問い合わせ、又は交換要領書をご請求ください。